

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
子ども自身が考え、行動できるようにひと呼吸待つように心掛けるようになった気がします。
正直、こちらから変わった点はありません。二人の喧嘩する姿を当分見なかったので、当分は優しく出来たかな。
「早くしなさい」「〇〇しなさい」とかいう声を掛けるのを少し待ってみるようにしています。
今まで、つい口を出して一歩二歩先の行動を子どもに押しつけていました。最近、『〇〇をするためにはどうしたらいい?』『今、頑張ったら何が自分のプラスになる?』みないな、自分のプラスに考えられるように持って行っています。今やるべきことが先につながっていくということが少しずつ分かってきているみたいです。
いつも通りです。
できてない事は本人の問題として突き放す努力をしています。
少し見守る時間が長くなったかなと思います。
余計なことに口出しをしないように、いつも心掛けるようになりました。
時々、多々忘れてしまうのですが、「子離れする!」「この子に任せて結果は認めてあげよう」(自己肯定感を身につけてあげたい)という気持ちを忘れないようにしようと思っています。
出来るだけ手を出し過ぎない、口うるさく言わないと心掛けています。
親が先々するのではなく、子どもにさせる(考える)時間を持つように心掛けるようにしています。
自分の意思でどうしたいのか?今、どうする時なのかを子どもに任せるようになりました。
特になし。基本的に子どもに任せる事が多くなった。
本人の気持ちを尊重しようという気持ちになった。
手を出しすぎないように気を付け、自分で考えるように接しています。
初めから、この子は無理だろうとか、やれないだろうとか思わなくなりました。この子なら出来るかもと思うようになりました。
特に変えては無いつもりですが、このおの100でまた一歩自分の世界を広げてくれたと思うので、どんどん外へ送り出してやりたいです。
最近は特に自分の意見をはっきり言う様になり、自立心が育ってきたように思います。まだまだ幼稚な所もありますが、確実に成長しておりどんな女性になるか楽しみです。
なるべく自主性を尊重するように気を付けています。
色々な事を一緒に考えたり、挑戦したりするようになった。
実際のところ、変わった事はありませんが、子どもの持っている力を信じて、今後も支えていきたいと思っています。
特に大きく変わった点はありませんが、以前より、自分のことは自分でするように声掛け、自主性に任せるようになりました。

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
手伝いを自分から進んで、親が何も言わなくても行動することが多くなった。
自分の事は自分で、やり始めた事は最後までやり遂げるように言葉掛けをして見守るようになった。
ひと言、言いたいのを我慢しています。
今までは、私が何でもしてきたが、日々の生活が快適に過ごせるのは、1つ1つのことをこなしているからだということを感じて欲しくて、色々なことを手伝ってもらうようになりました。子どもに『ありがとう』を言う機会が増えました。
今回の頑張りを見ていて、もう少し子どもの事を信じて見守っていけるようになりたいと思いました。
これも特にありませんが、「〇〇しなさい」と言う前に少し本人の様子を見る事が増えました。
今までは、すぐに口を出していましたが、少しだけ見守ろうと思えるようになりました。イライラしているとすぐに口が出ますが、以前よりは気持ちに余裕を持って接するようになりました。
参加する前は、我儘が出ていないか心配でしたが、話を聞くと外では意外としっかりやってくれているんだと感心しました。体力も忍耐力も無いと思っていましたが、そんなことはないと気付かされました。もっと子どもの力を信じようと思いました。
口が達者になってきて、理由を説明して納得させてきたこれまでのやり方が通用しなくなっています。失敗したら気付くかなとか、苦しい思いをしたら行動も改めるかなというこちらの想定は全く当てになりません。試行錯誤しています。
特に変わらないです。
子どもを信じて待てるようになりました。今まで、『早く、早く』が多かったことを反省しました。
なるべく自分で考えさせるように意識しています。
今まで、子どもが手伝いたいと言ってもさせる事なくしていたのですが、子どもと一緒に少しずつでするようになりました。
子どもが自分で考えて行動できるまで待とうと思えるようになりました。「やれば出来る」ということが分かったので。
特別変わったことはありませんが、ちょっと成長した子どもを頼もしく思い、これからも成長を見守っていきたいと思います。
時間にも気持ちにも余裕が無くて、今もですが。子どもにあれこれ言い過ぎている所があったかなと反省します。失敗も経験で、大きなトラブルになったとしても、それはそれなのだろうと思いました。見極めと見守り、していこうと思います。
何かをする時に先に手を出したり、口を出したりすることをせず、少し待てるようになったと思います。
日々の生活に追われて、ゴールの日は良く頑張ったねと労わってやりましたが、過ぎてしまうと…。
あまり、口や手を出さないで見守りをするようにしています。自分で考えて学んでいってくれることを希望します。

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
特に変わった接し方はしていないのですが、出来るだけ自分の事は自分でさせるようにしたいなと思っています。
自分で出来る事は自分でさせる。あまり口を出さない。
しっかりした分、見守る部分が多くなりました。
変わっていないですね…。
自分のこと以外にも、家庭での様々なことにチャレンジしてもらおうと声掛けしますが…。今まで通り、断られてます。
上に兄がいて2番目なので、女の子でもあるのでしっかりはしていたのですが、思っている以上に何でも出来るし、良い意味で放っておいても大丈夫だと、お互い自信がついた気がします。
挨拶を大事に心掛けるようになった。
特別に変わったことはありません。
100kmを完歩したことを自信に出来るような声掛けをしています。
私自身、あまり口うるさく言わないようになりました。100kmも完歩できたスゴイ事をしてきた子ども達なので、子どもを信じることを行い、待ってみようと思えるようになりました。
少し変わって来た子どもに対し、その事を認めてやり遂げた時にはたくさん誉めてあげられるようにしている。子どものちょっとした変化を大切に、そして、見逃さないようにたくさん口に出して伝え、受け止められるように心掛けるよう変わろうと思っています。
特にはないが、自信を持ってやりきる事の大切さを語った。また、色々なことにチャレンジするよう声掛けをしている。
親が先に口出ししていたことが、子どもが口を聞くまで少し待ってみようと思いを落ち着かせる努力が出来ようになった。
頑張って達成したことについては言葉で評価してやろうと思い、実践しました。
指示をすることが多かったのが、少し自分で考えさせる時間を取れるようになりました。
なにごとにもゆっくり待つことを心掛けている。
本人に任せよう！口を出さずにみていよう！と思うことが以前より増えました。
少し、本人がしたいと言うことを「出来ないかな…？」と思う様な事でもやらせたり、仕事を任せたりする様になりました。
個人を大事にもっと意見が出せるように、子どもの会話を大切に考えるようになりました。
子どもが動くようになったので、私もあまり口出ししなくなった。全く理解できない行動も見守れるようになった。
宿題の多さに集中力の切れてしまう子どもに、やっぱり放っておけずつい声を掛けてしまう。長～い目で見れない自分に反省…。
「やればできる」をモットーに、持ち上げながら頑張らせています。そうすると、ニコニコ笑いながら仕方ないな～という感じながらやっています。

設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、 変わった点がございましたらお書きください。)
子どもの可能性を信じて、先回りした子育てではなく後押しできる子育てを心掛けたいと思いました。
子ども自身の力を信じ、任せてみるということが増えました。口出しをしないでゆとりを持って見守るように心掛けるようになりました。
あまりくどくどと怒らない、言わないようになったと思います。
あまり口出しをせず、見守るようにしている。
変わっていませんが、本人が少し変わったので口うるさく言うことが気持ち減りました。
変わったことは無いと思う。
「頑張ったね」「ありがとう」と言う様に心掛けています。